



天塩町のマスコットキャラクター
「てしお仮面」

ミズベリング天塩会議が開催されました！

地元の高校生と共に、天塩川の水辺を活用して新たな賑わいを生み出すためのアイデア会議を開催しました。熱き若者たち49人が集結！若者にとっての天塩川とまちづくりについて熱く語りました。



※写真の掲載については学校より許可をいただいております。

<ミズベリング天塩会議>

平成27年10月30日（金）、最北の大河「天塩川」が流れる天塩町にて、全国で最も北となるミズベリング会議を開催しました。

天塩町の主催による、熱き若者たち「天塩高校生」が集結した会議です。

会議には、ミズベリング・プロジェクト事務局の真田武幸さん、岩本雅史さん、国土交通省 水管理・国土保全局の臼井義幸さんに参加いただき、会議のワークショップのコーディネートをしていただきました。

天塩町は、天塩川の雄大な自然環境を活かし、観光振興や地域活性化をはかる「天塩かわまちづくり」を実施しています。平成25年9月にNPO、地元住民、自治体等からなる検討会を設置しこれまで19回開催(H27.10月末現在)しているところです。今回は、なんと、高校生のアイデア・夢・希望を、かわまちづくり検討会に直接持ち込むなど、活気あふれる会議となりました。

それでは、会議の様子をお伝えします。



会議は、**天塩高校生の高らかな宣言により「プレイボール！」**(野球部なので)

ミズベリング会議の主催、天塩町商工観光課長の守山氏からは**「自分たちのふるさとの川について、もっと興味を持ってもらいたい！」**と熱いご挨拶。

皆、真剣！



臼井さん、真田さんからは、全国の水辺で起こっている賑わいの様子が紹介され会場の雰囲気は除々に高まっていきます。

岩本さんからは「なぜ水辺なのか？それは古代の歴史から人と水辺は強いつながりがあったから！」そして**「人類の歴史を通して水辺がこんなに人の生活から遠ざかったことはいまだかつてない！」**という岩本さんらしい哲学に高校生は釘付け。

ここで提言(?)**「欲しい環境を持っていなくても誰も作ってくれない。自分たちで作ろう！そして、そういう活動を MIZBERING は支援しています」**



守山さん



臼井さん



岩本さん



真田さん

<ワークショップ>

早速、ワークショップ開始です。ワークショップは高校生を中心に 10 人程度のチームに分かれ 6 つのテーブルでアイデア会議を開始しました。

天塩川が描かれた模造紙に、アイデア付箋紙をペタペタ貼ったり、直接マジックで描いたり、終始賑やかに進みました。



出されたアイデアは？というと、
まず欲しいものっ！

- ・スターバックス！
- ・遊園地！
- ・マクドナルド！
- ・ミスタードーナツ！
- ・ショッピングモール！
- ・携帯電話ショップ！

・・・高校生らしい、大変正直なアイデアですね。
しかし、天塩の彼ら彼女らは「それだけ」ではありません。
以下、本気モード突入。

- ・天塩の絶景「夕陽」をウリにするための映像コンテンツをつくるための場を整備
- ・デートスポットを作る！（夕陽の見える公園で愛を叫ぶ！？）
- ・天塩川に「てしお仮面」を浮かべる（観光の目玉に）
- ・水辺の屋台やカフェを営み、気軽に賑わいを

- ・天塩川に橋を架けて、花火大会や夕陽のスポットとした、ライブや乗馬体験などをやりたい
 - ・川口遺跡でサバイバルゲーム！？を開催（水風船ゲーム）
 - ・町の歴史を活かしたい（歴史村や映画村など）
 - ・集うところが少ない。砂浜を改良してビーチスポーツパークを作ろう
 - ・自分たちが楽しめなければ観光客も楽しめない！
 - ・施設は、水力発電により経費削減
- などなど、グッドアイデアばかり。



最後に、幌延河川事務所の吉田所長から、「今後も、これをよい機会として天塩川の水辺に関心を持ってもらいたい！」と、ちょっぴり長め(?)の講評をいただき、会議が終わりました。

高校生のみなさんにはミズベリングについて十分伝わったようでした。
みなさんの想いは、1枚の絵にまとめられましたのでご紹介します。



「天塩川の未来予想図」